Ａ－１　研究構想図

研究構想図

めざす児童像

①自分の考えを相手に伝わるように書ける子（言葉、図等）
②相違点・共通点を考えながら聞いたり話したりできる子
③意見＋理由を言える子

研究主題

確かな「活用力」の育成
―子どもがつながる授業を通して―

「活用力」

知識・技能を活用し、課題を解決するために必要な論理的思考力・判断力・表現力である。
必要な情報を取り出し、その情報を解釈し、評価し、論理的に自分の考えを述べたり書いたりする力である。

研究仮説

学習過程において、「課題とつながる」「子ども同士がつながる」「他へつながる」指導を行えば、自分で考えたり、判断したり、自分の考えを明確に表現したりする力がつくだろう。

つながる授業

①課題を共有している。
②学習意欲がある。
③子供同士の話し合いがある。
④教え合いがある。
⑤学んだことを伝えている。

活用力をつける学習過程

①**共有**《意欲をつなげる》
・学習課題を作る(知る)
・情報を取り出す
②**表出**《課題とつながる》
・自分の考えの根拠を書く
・あらゆる方法で発表の準備をする
③**つないで活かす**《他へつながる》《子ども同士つながる》
・意見＋理由を使って話す
・いろんな方法を交流する
・共通点、相違点を確かめ合う
・1つにまとめられる言葉を選ぶ
＊発信する
④**まとめる**《次時へつながる》
・課題に対するまとめ
・次へ活かせるまとめ

ピアサポートの推進

（朝自習、殿山タイム、授業）
・自己有用感の獲得
・学習意欲の向上
・基礎・基本の習得

辞書の活用

（常備、付箋の活用）
・情報、知識の獲得
・語彙の増加
・漢字の定着
・知的好奇心の喚起

マインドマップの活用

（作文、思考整理、発想）
・覚える力
・考える力
・整理する力
・長文や小論文を構想する力

の育成

授業研究部会

実　践　部　会

【学級活動の充実】
・学級経営方針の作成
・ピアサポートの推進
【学年間交流、縦割り班活動の充実】
・年間指導計画の作成
・ピアサポートの推進

連　携　部　会

【家庭との連携】
・生活習慣の改善
・家庭学習の改善
【地域との連携】
・地域の人との交流
・地域人材の活用
・地域教材の発掘・活用
・学校だよりの発行

環　境　部　会

【屋内環境の整備・充実】
・普通教室
ミニ学習の場づくり
・廊下、階段、特別教室
ミニ学習の場づくり
【屋外環境の整備・充実】
・花壇、プランター

学級づくり